

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことは

ふせ
布施

—「だれか」のために「わたし」にできること—



令和元年

9.10

月号

菜園日記 (さいえんにっき)

ヤサイのハテナ

東山浄苑東本願寺発！パパママこどものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育ては、とても尊い大事な**
ことです。いい子になってほしい、と思いつつも、**ほんとうのやさしさ、かし**
こさ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびに
なりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今のことば : 「布施^{ふせ}—誰かのために私にできること—」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

●「布施」ってなんだろう？

「布施」は、わたしたちが生きながら仏さまのさとりに近付くための修行^{しゅぎょう}の一つです。「お布施」という言葉を聞くと、お坊さんにお渡しするお金やもののこと、と思っている人が多いでしょう。

「布施」とは、それだけではなく、困っているひとに対して、見返りを求めずに、ほどこしを行うことを言います。

●いろいろな布施

「お布施ってなんだかむずかしそう…」

「まだこどものぼくには、お金もものも、あげられるものがない…」

「貧しいひとはお布施ができないから、仏さまのさとりに近づくことはできないのかな？」
と思う人もいるかもしれません。

しかし、お金やものを施^{ほどこ}すことだけが「布施」ではありません。お金がなくても、ものがなくても、できるほどこしがあります。

それが、「無財^{むざい}の七施^{しちせ}」です。

【無財の七施】

- 1.和顔施（わげんせ） なごやかな表情で接すること。
- 2.愛語施（あいごせ） やわらかな言葉で優しい話し方をすること。
- 3.眼施（げんせ） 優しいまなざしを向けること。
- 4.身施（しんせ） 体を動かして人の為に何かをすること。
- 5.心施（しんせ） ほかのひとを思いやること。
- 6.床座施（しょうざせ） 自分の席を人にゆずること。
- 7.房舎施（ぼうしゃせ） 寝泊まりするところがない人に宿を与えること。



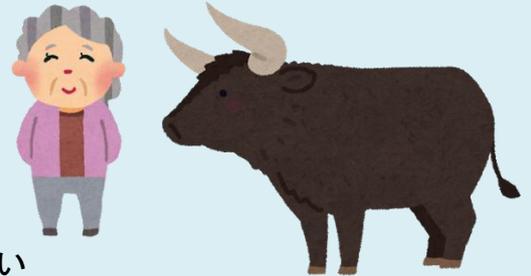
●見返りを期待しないこと

今みてきた「無財の七施」は、すべて、^{まごころ}真心をもって相手のきもちを考え、ひとに優しく接することですね。

「こまっているひとのために」「だれかのために」さまざまな「ほどこし」をおこなうのが「布施」ですが、じつは「布施」は「ひとのため」ばかりのことではありません。人に優しくすること、なごやかな表情で人と接すること。これは実は、相手にとっていいことであるだけではありません。自分にとっても、いいことなのです。

「^{くろし}黒牛のおんがえし」というお話があります。

おばあさんにわが子のように大切に育てられた黒牛は、いつかおばあさんにおんがえしをしたいと考えようになります。一生懸命考えて、体もめいっぱい使って、お金をたくさんかせぐことができました。黒牛はきっとおばあさんも喜んでくれると思い、ほこらしい気持ちだったことでしょう。



ところが、おばあさんは、「親切にするのはいいけれど、お金はもらうんじゃないよ。お前さえいれば、十分だよ」と言って、お金は村の人々に分けてあげました。おばあさんは、なぜこうしたのでしょうか？

●^{じりりた}自利利他

仏教に、「^{じりりた}自利利他」ということばがあります。「^{じり}自利」とは自分が^{りやく}利益をいただくこと、「^{りた}利他」とは他の人に利益となることで、このどちらもがかなうことがほんとうのよいことです。「布施」をおこなうことは、ほどこしをした「だれか(相手)」をしあわせにするのはもちろん、「じぶん(わたし)」もしあわせにするのです。「布施」はまさに「自利利他」、しあわせのバトンリレーといえるでしょう。

●「だれか」のために「わたし」にできること

電車で、お年寄りに席をゆずったとき、「ありがとう」と言われると、うれしい、照れくさい、ほこらしいような気持ちになります。また、逆に誰かがお年寄りに席をゆずっているのを見たとき、ほっとあたたかい気持ちになります。人から何かをしてもらったら「ありがたいな、うれしいな」と思うように、人に何かをしてあげたときも喜びがわいてくるものなのです。また、そのやさしい行動を見たまわりの人にも、あたたかい気持ちを与えるものなのです。

「無財の七施」は、みなさんの心がけ次第で、だれにでもできるほどこしです。にこやかな表情で、やさしい言葉で話し、まごころで接して、困った人を助けることは、相手だけでなく自分もまわりもうれしい気持ちにします。

だれかを思い、だれかのために真心で何か行動すること。みなさんも日々の暮らしの中で、身近な人のために、さっそく行動してみませんか？ きっと、まわりも自分もうれしい気持ちになりますよ。



ありがとう!



だっこだっこあみだっこ は、毎月東山浄苑東本願寺で開催して

いる「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い -仏法に親もう 土に親もう!- ってなあに？

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。

また、花まつりでは、毎年こども法要をおつとめしています。

なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、

「いただきます」「ありがとう」の豊かなところを育てましょう。

乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。

お気軽にお尋ねください！



【活動日】 毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更

【場所】 東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日 9:00
～17:00



LINE ID : oyakobuppou

LINEで参加申込が出来ます！興味のある方はお問い合わせ下さい。

— 参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内 —

当日参加
大歓迎！

10月20日(木)

10:00～12:00

【10月の言葉と目標】

ほんがん
本願

—ほんとうのねがいを知る—

【活動内容】 空豆とルッコラの種まき

【場 所】 東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族1回 1,000円【初参加無料】

11月17日(日)

10:00～12:00

【11月の言葉と目標】

かんおん
感恩

—たくさんの「ご恩」をよろこぶ—

【活動内容】 しょうがの収穫

【場 所】 東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族1回 1,000円【初参加無料】

※参加ご希望の方は
事前に
お電話で
お申し込み下さい

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。 あらかじめ 予めご了承ください。
※雨天の場合は、写経体験や掛軸づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに♪



親子仏法Instagram始めました！ アカウント名: amidakko

菜園や活動のようすを週2回程度アップしてます。

フォローして画面を提示するだけで参加費1割引♪(1家族1回のみ利用可)

だっこだっこあみだっこ 令和元年9・10月号

令和元年9月10日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料